



神戸空港マリンエア

～神戸空港の概要と運用状況～

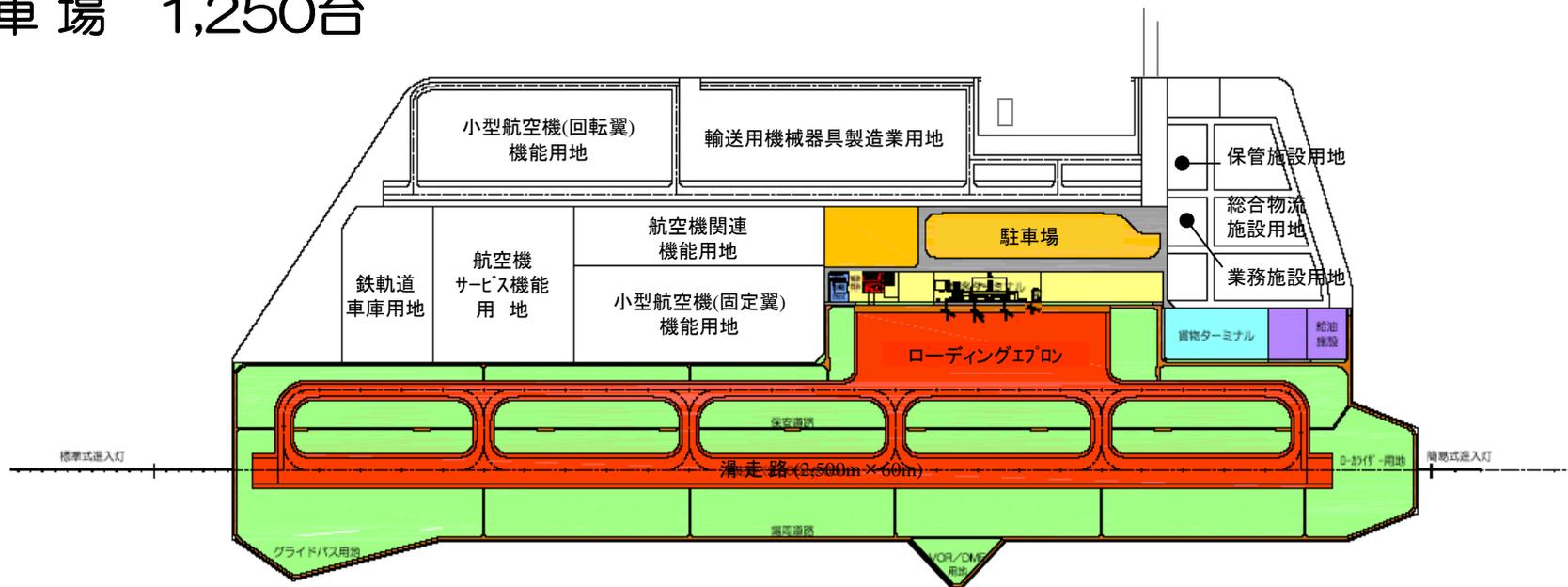
神戸空港マリンエア



神戸空港の概要



- 種 別 第三種空港（地方自治体が設置管理）
- 設置管理 神戸市
- 運用時間 7:00~22:00
- 滑走路 2,500m 1本
- アクセス 三宮からポートライナーで最短16分台
- 駐車場 1,250台



神戸空港の位置



①神戸市都心に近接した都市型空港

(三宮へはポートライナーで最短16分台)

②既存の交通インフラを利用し、広域的移動がスムーズに行えるメリット

- 神戸は高速道路網の結節点
- 大阪, 京都, 奈良の国際都市とも近接
- 関西国際空港へは直線距離で約24km
- “神戸－関空ベイシャトル” 運航開始
(所要時間29分・20往復/日)

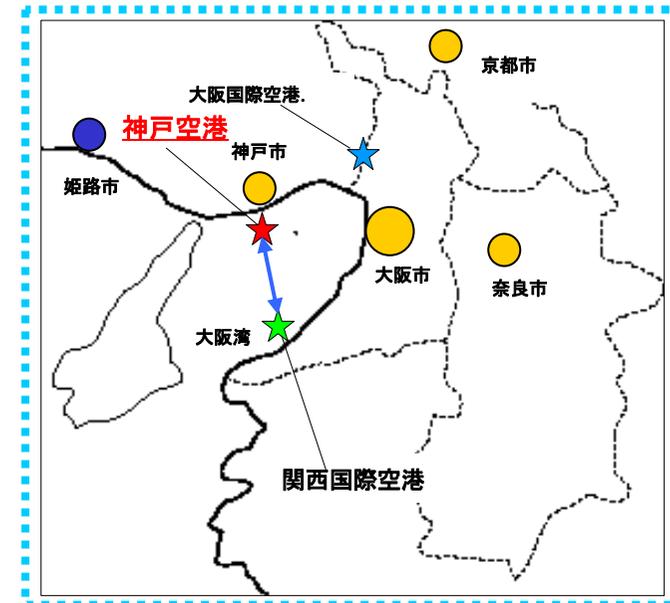
◆鉄道を使って◆

大阪へ20分, 京都へ50分, 奈良へ70分, 姫路へ38分

※いずれも三宮からJR利用の場合

◆車で◆

三宮から有馬温泉へ30分, 徳島へ80分, USJへ30分



神戸空港へのアクセス（自動車）

主要都市	所要時間
大阪市	約40分
西宮市	約25分
加古川市	約55分
明石市	約40分
姫路市	約1時間15分
三田市	約50分
淡路島	約1時間10分



就航路線・便数



《平成19年9月10日現在》

札幌(新千歳) 6往復/日

仙台 1往復/日

東京(羽田) 12往復/日

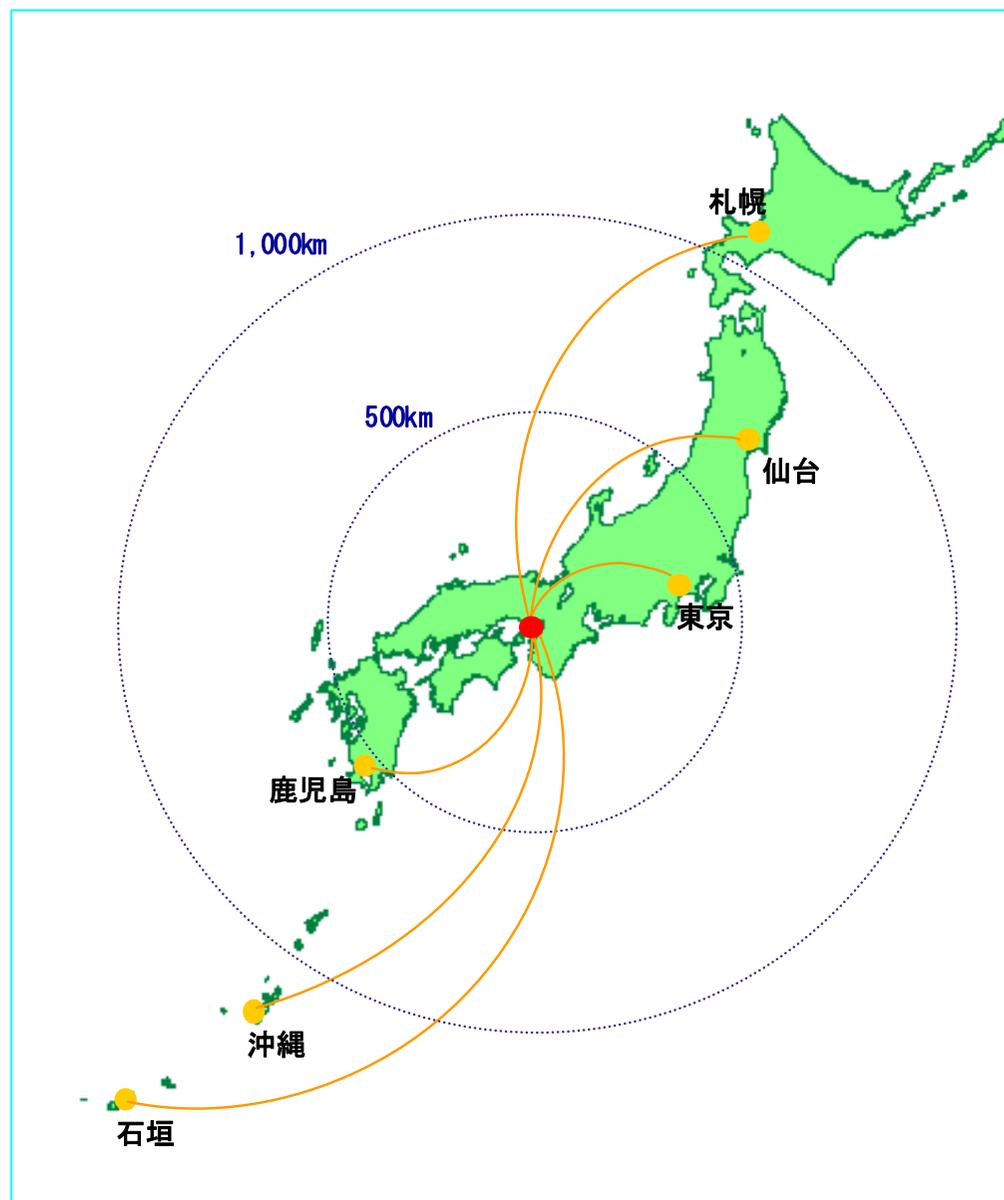
鹿児島 2往復/日

沖縄(那覇) 5往復/日

(※7・8月は8往復/日)

石垣 1往復/日

計 6路線27往復/日



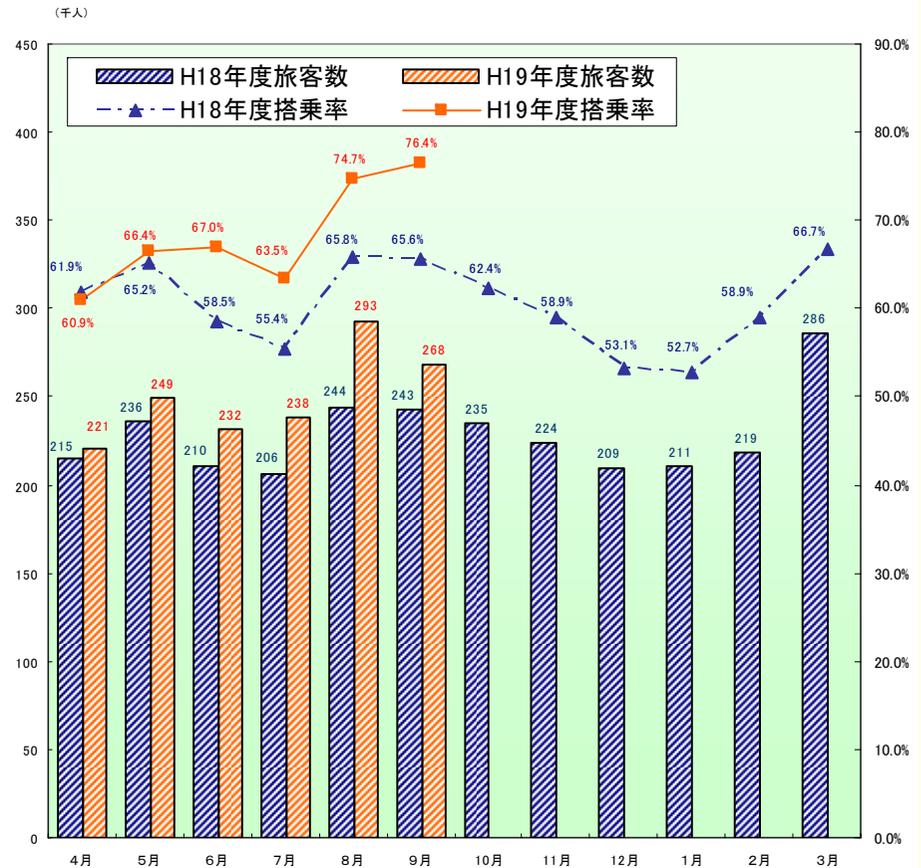
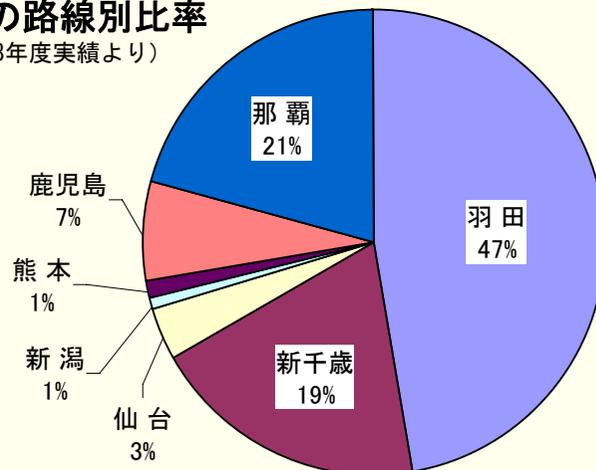
旅客数の状況



路線別の旅客数（出発・到着の計）

路線名	18年度(H18.4~H19.3)		19年度(H19.4~9)	
	旅客数(人)	座席利用率	旅客数(人) (前年比)	座席利用率
東京	1,296,690	68.4%	724,895 (115.9%)	72.9%
札幌	532,268	71.3%	331,272 (124.5%)	65.5%
仙台	93,699	41.5%	30,224 (61.5%)	38.5%
新潟	23,707	31.3%	533 (3.8%)	14.6%
熊本	33,246	31.4%	9,173 (59.6%)	35.1%
鹿児島	189,764	42.0%	56,300 (64.0%)	53.6%
沖縄	568,769	55.1%	325,031 (109.8%)	70.4%
石垣			23,298 (-)	86.0%
計	2,738,143	60.4%	1,500,726 (110.8%)	68.2%
1日平均	7,502		8,201	

旅客数の路線別比率 (平成18年度実績より)



旅客数の推移

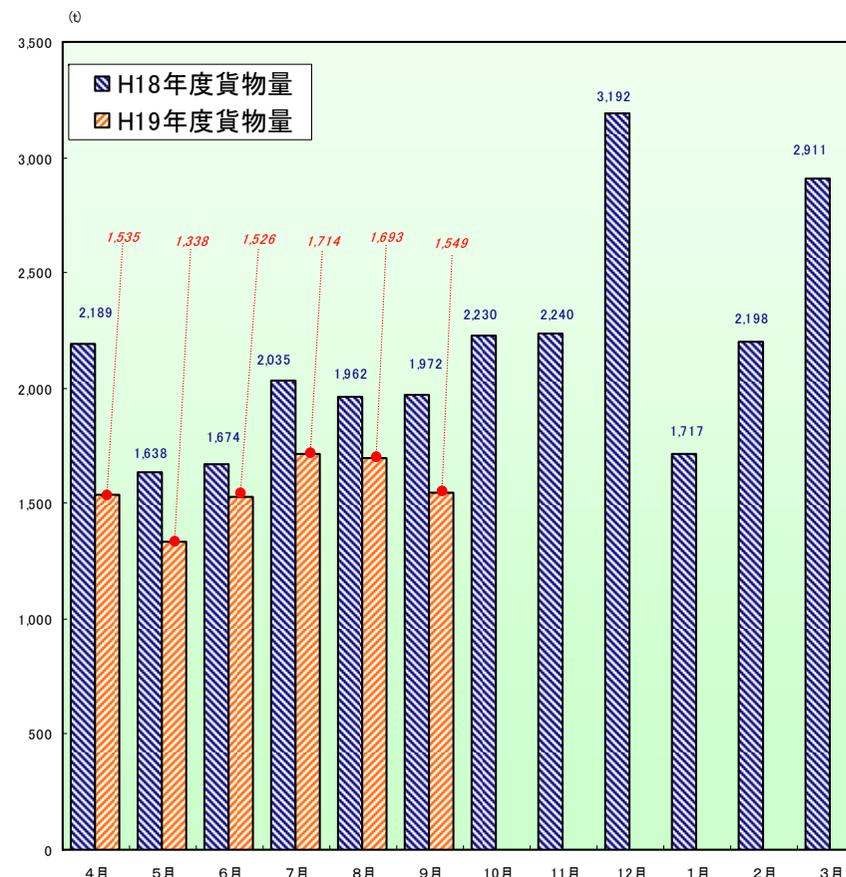
※新潟線、熊本線は、平成19年6月までで休止
石垣線は平成19年7月から運航開始

取扱貨物の状況



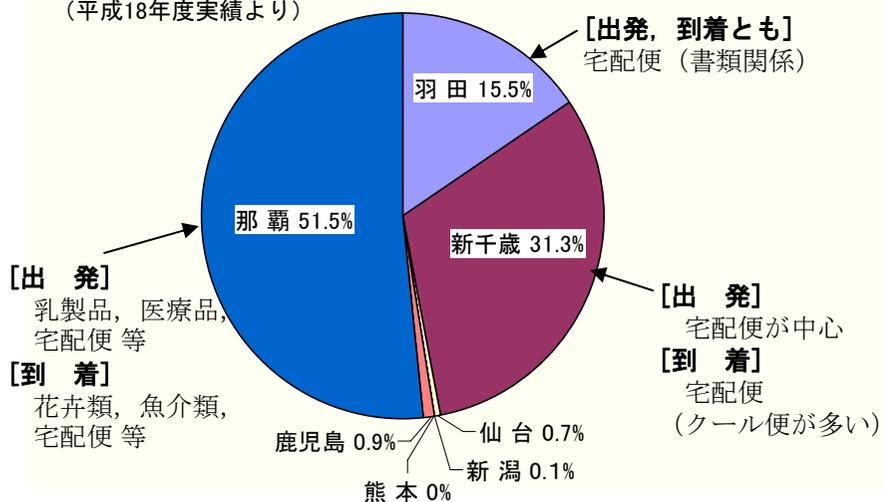
路線別の取扱貨物量（出発・到着の計）

路線名	18年度 (H18.4~H19.3)	19年度 (H19.4~9)	(前年比)
東京	4,032,322	877,951	(51.1%)
札幌	8,121,268	4,272,780	(114.7%)
仙台	172,150	92,633	(78.3%)
新潟	15,616	8	(0.1%)
熊本	11,367	700	(7.0%)
鹿児島	225,609	24,666	(19.4%)
沖縄	13,377,508	4,070,276	(71.3%)
石垣		15,928	(-)
計	25,955,841	9,354,942	(81.9%)
1日平均	71,112	51,120	



貨物量の路線別比率と主な品目

(平成18年度実績より)



取扱貨物量の推移

※新潟線、熊本線は、平成19年6月までで休止
石垣線は平成19年7月から運航開始

国際便の就航



○ C(税関)、I(入国管理)、Q(検疫)をはじめとする関係 機関との協議を整え、平成18年9月28日よりビジネスジェットなど国際便の受入を開始。

○ 神戸が直接、海外と結ばれ、活発な人の動きを支える手段が確保されることにより

- ・ 外資系企業誘致の推進
- ・ 国際コンベンション誘致の推進
- ・ 医療産業都市構想と連携した空港活用

など、今後の神戸経済に与える影響は、非常に大きい。

[神戸空港での国際便の受入体制]

○受入可能な国際便

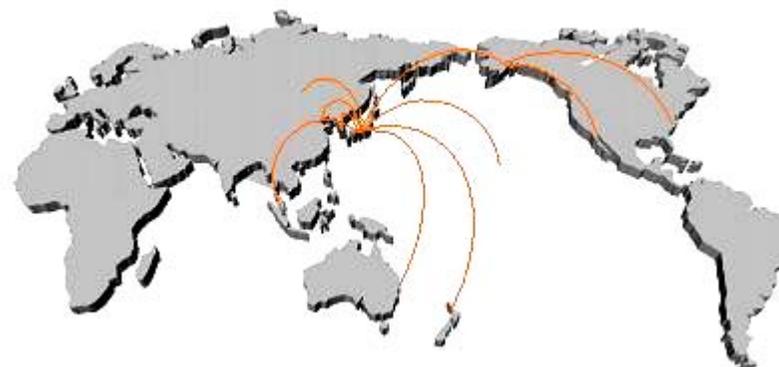
⇒自家用機及びオウンユースチャーター機

○受入時間

⇒出国：8:30~17:00(原則)

入国：平日の8:30~17:00(土・日・祝は不可)

[就航実績]



《平成18年度》

受入機数：13機（神戸空港でCIQ手続きをしたもの4機）

《平成19年度》

受入機数：9機（同上6機）(H19年9月まで)

[国際便の初就航]

釜山空港(韓国)へ
向け神戸空港を出発

初就航機



(セスナ式525型) 2006.9.28

[神戸天津友好の翼]

日中国交正常化35周年2万人交流
事業の一環として、友好都市である
天津市に向け神戸空港から出発

「神戸-天津友好の翼」チャーター機



(ANA B767-300) 2007.9.8

エコアップ・エアポート



A-320

～環境保全・創造型の空港～

親しみやすい水辺づくり

北側の水際線の一部を階段式とし、あわせて親水緑地を整備。市民が憩える水辺をつくります。



人工海浜

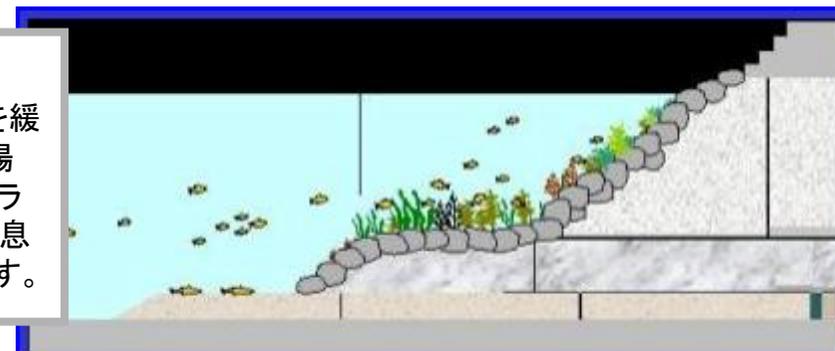
空港島の護岸の一部に、透水性を持たせ、砂浜や磯浜を設けて、市民が気軽に遊べるレクリエーション性の高い大規模な親水公園として整備しています。

夏季は、大阪湾などで混獲されたウミガメを保護飼育しています。



環境創造型護岸

空港島の外周7.7kmのうち、6.7kmを緩やかな石積みとし、太陽光が届く浅場をつくっています。そこには藻類やプランクトンが生長し、多くの魚や貝が生息するなど、豊かな生態系が育まれます。



神戸のまちづくりと空港に期待される主な役割

集客観光都市づくりに貢献

- ・ 神戸市内の事業所の約3割が“観光”に関連
- ・ 今後の観光・ビジネスに大いに貢献する都市装置

神戸医療産業都市構想との連携

- ・ 細胞や組織の輸送，医療機器や部品の緊急輸送
- ・ 患者，医師，研究者の効率的な移動など

防災拠点としての神戸空港

- ・ 災害時には，神戸空港を經由して，食料・医薬品・衣類等を多様な交通手段で迅速に市街地に輸送
(空港の耐震対策：滑走路・誘導路などの地盤改良工事を実施)

神戸空港の制限表面と航行船舶の監視

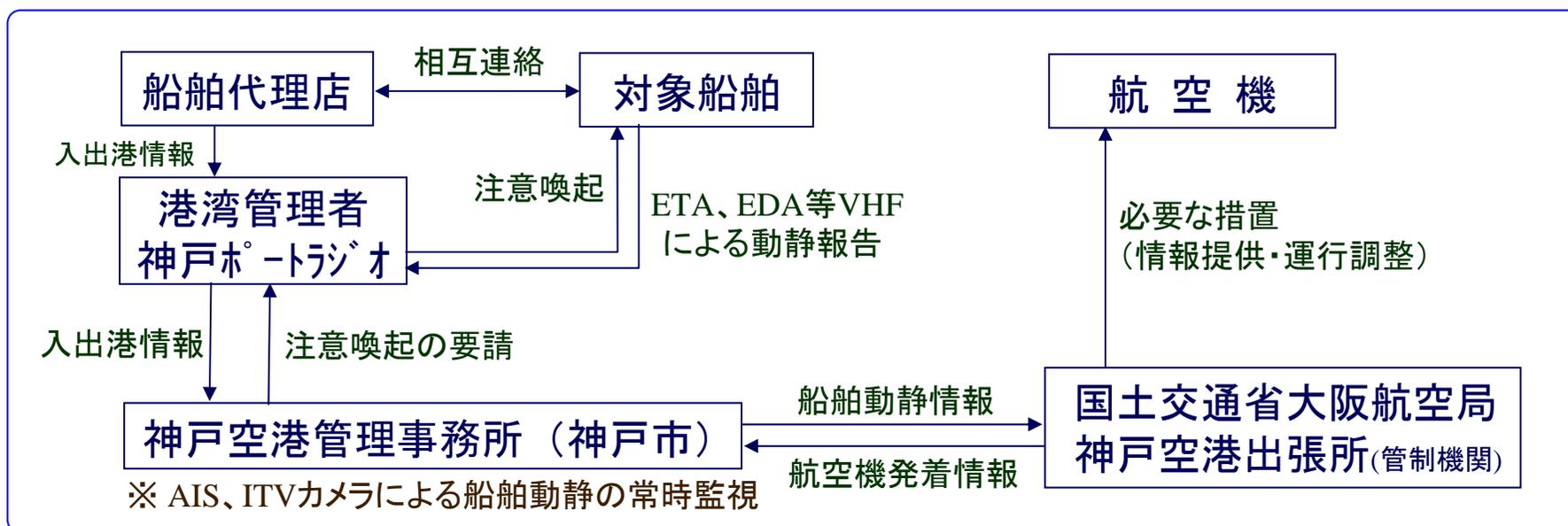
空港の東側進入表面と神戸中央航路が近接
空港の西側進入表面と神戸西航路が近接

※進入表面：制限表面の一つで、滑走路端より3,000m、1/50の勾配をもつ。

○管制機関、空港管理事務所、神戸ポートラジオの3者で、
船舶の動静を常時監視

○AISにより安価で確実な状況把握とコントロール

※AIS: Automatic Identification System



大型船舶航行予定情報(国土交通省へ)

大阪航空局神戸空港出張所
航空管制官・航空管制運航情報官 様
(FAX:078-304-3806)

(平成 18 年 12 月 31 日 18 : 00 連絡)

神戸空港管理事務所

大型船舶航行予定情報 (/)

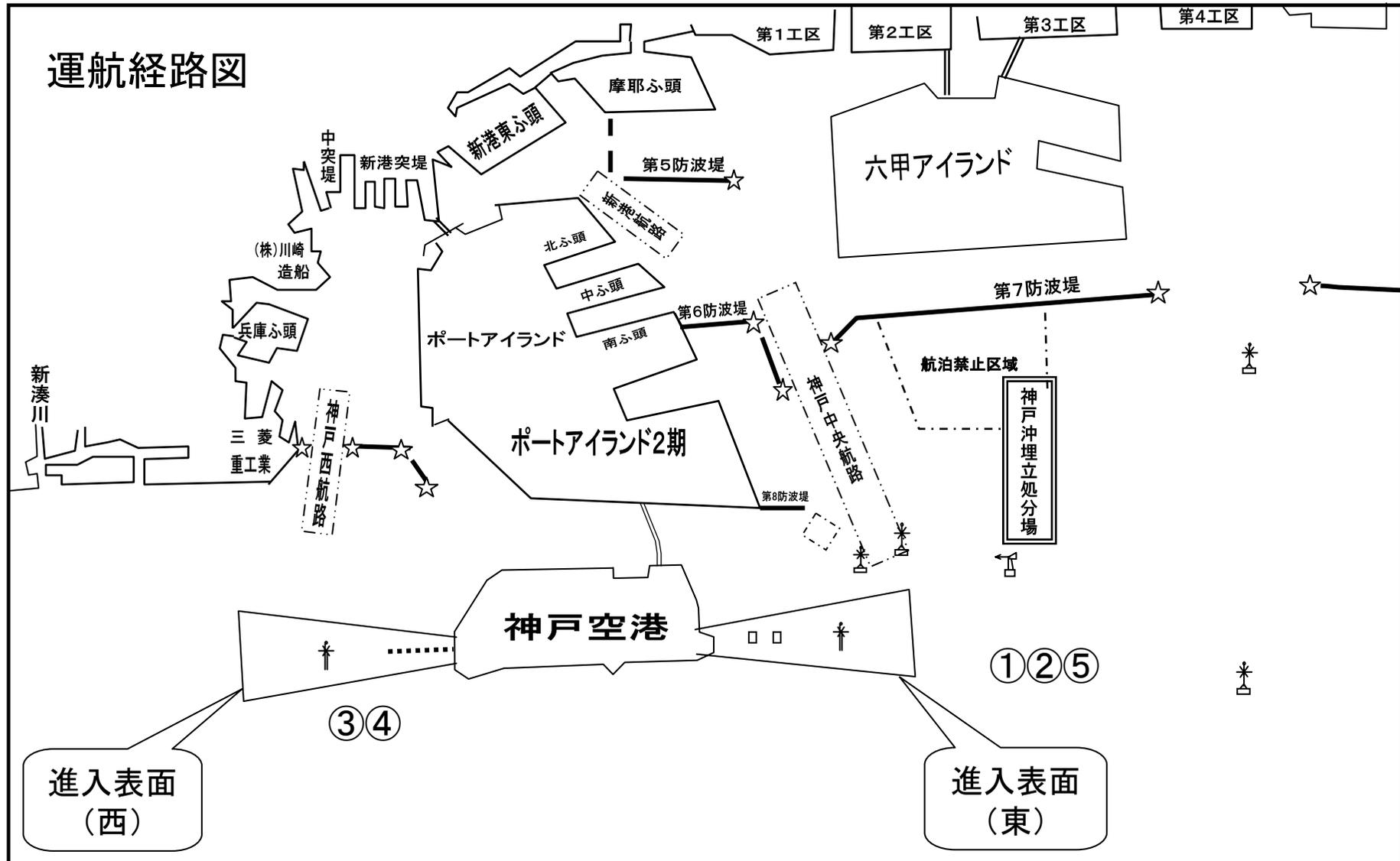
平成 19 年 1 月 1 日(月 曜日)

	船名	船種 ※1	入・出港別※2 進入表面東・西別	進入表面 通過時刻	マスト高(m)	備考
①	ABC-〇〇	A	入出 東西	6:50	50	42,000t
②	〇〇〇号	B	入出 東西	11:30	40	
③	パシフィック△△	C	入出 東西	12:00	35	
④	〇〇〇号	B	入出 東西	12:30	40	
⑤	□□□-XYZ	A	入出 東西	21:00	50	90,000t
⑥			入出 東西			
⑦			入出 東西			
⑧			入出 東西			
⑨			入出 東西			

※1 A:貨物船 B:起重機船 C:客船 D:その他()いずれか該当する記号を記入。

※2 入・出港、進入表面東・西それぞれいずれか該当する方に○印

運航経路図



AIS (Automatic Identification System)



----- は、
進入表面を表す。
本資料作成にあた
って追記した。